

―目次―

表紙「蓮」

「コラム百折不撓」住職

連載「ハヤブサ物語19」

ハザード会これから

信さん

科学にすぎるな

お寺おやつクラブ

町をきれいに

連載「私の出会った神様たち②」

さとのりの知恵を読む 28 「縁起のことわり」

掲示板・お知らせなど

付録・今あなたに届けたい法話

泉 いずみ



朝もやに まさに開かん 蓮の花 博子

ジトジトした日が続いていきますね。日も長くなり、晴れた日は19時を過ぎてもまだまだ明るい！朝は4時ぐらいいから明るくなってきましたね。19時過ぎに仕事しながら、もう真っ暗だよな〜と想像しながらふと外へ出ると、まだ明るいことに違和感を感じるようになったってきました。現実の時の流れと、自分の中にある時の流れがミスマッチするようになってきました。これは何でしょうか？歳を重ねてきた証拠でしょうか？読者の皆さんからは、「まだまだ若いじゃないか！」って心の声が聞こえてきそうですが・・・。二〇歳の青年から見れば、私もおじさんの部類に入るのでしょいか？でも、60歳の方から見れば、私もまだまだ若造で働き盛りという部類に入るのでしょい。結局、見方が変われば捉え方も変わるといことで、人は自分の基準で物事を捉えることしか出来ないもので、43歳が若いのか、おじさんなのかは、永遠のテーマで解決はできないのしょう。

「期待は絶望の母である」

私がお世話になってる仕事の先輩から聞いた言葉です。最近、この言葉をよく考える機会を与えられています。

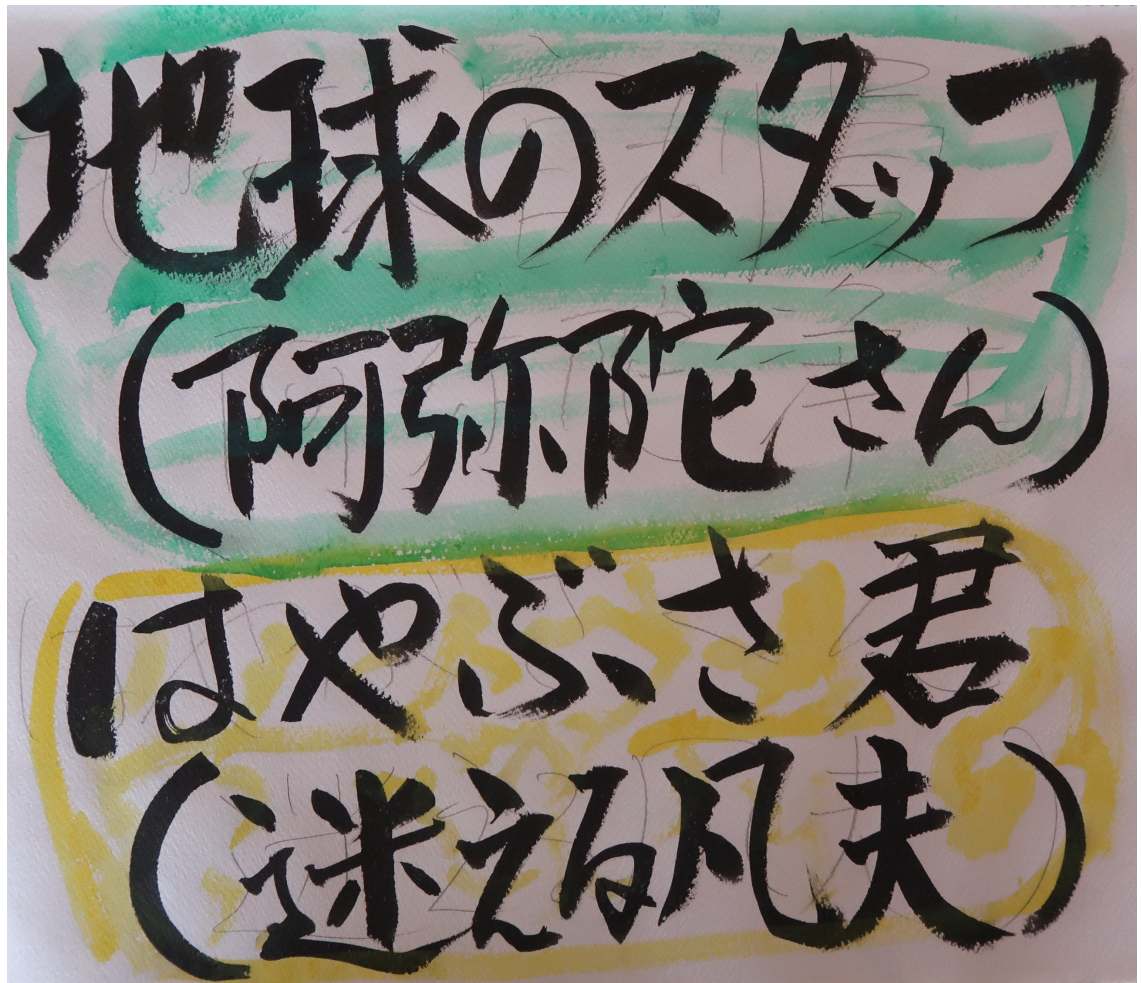
仕事でも、プライベートでも私は今まで、良く相手を鼓舞するときに「期待しているよ」や相手の期待に応えようと「必ず期待に応えます」という言葉を発してきました。一見、良い印象を与える言葉だと思われがちですが、実は多くの危険を伴っている言葉だと最近感じさせられます。例えば、仕事においては、部下に対し、「〇〇した方が良い」「これはこうだから」

などと、相談を受けたり、気になることがあると、こちらから良く話をすることがあります。もちろん、話をすることは、相手に対し「こうなってほしい」「こうあってほしい」という期待をしているからです。時に「期待しているからね」という言葉も伝えながら。しかし、以降も同じことで失敗したり、実際に伝えたことが出来ていないことが続くと、私自身は「この前も言ったよな」という思いになります。なんで出来ていないの？とイライラや怒りや絶望の感情が湧き上がってきます。

ただ、これって、本当に「出来ていない相手」が悪いのでしょうか？相手に対し、期待をしているのは誰？私が勝手に相手に期待をしているだけなのに、それに応えてくれない途端に相手が悪いというような気持ちになる。そこで湧き上がってくる感情は本当に正しいのでしょうか。

私は、期待することが良い悪いのではなく、期待はあくまで自己責任として解消していく必要があると考えています。恋愛も、好きになったのは自分であって、相手が好きであるかどうかは、自分の好きという感情や思いとは全く別ものです。それを履き違えると、好きになってくれない相手が悪いと、ストーリーカーになったり、相手を傷つけてしまふような行動になったりするのはないでしょうか。

私は、期待するのもしないのも、それはあくまで自分の判断。しかし、それを相手に押し付け始めるから、少しのことでも絶望したり失望したりする。それがエスカレートすれば、憎しみや恨みの気持ちも湧き上がる。自分自身を自分自身でコントロールできなくなる仕組みがここにあるのだと思います。だからこそ、結果がどうであって、それはあくまで自己の中のみで受け止めることが大切ではないでしょうか。「期待は絶望の母である」という言葉を改めて考えさせられます。



◆なんと前住職は、僕と地球のスタッフの関係を、迷える凡夫（庶民）と阿弥陀さんの関係に読み変えてしまった。何という大胆無鉄砲な発想だろうか。◆でも、僕の物語を阿弥陀さんと凡夫のお話に読み変えると、阿弥陀仏の働きがとつても良く分かるんだそうだ。

◆やはり一番のクライマックスは、宇宙の迷子になってしまった僕を探すために、地球のスタッフが不眠不休で宇宙のあらゆる方向に向かって、搜索電波を出し続けたところかな。◆「ハヤブサー！君は何処にいるんだー！どうしているんだー！頼むからこたえてくれよ おおー！」◆奇跡的に僕はこの電波をキャッチした。◆これが阿弥陀の呼び声だ！（続く）

ハザードマップ委員会より

野呂博子

今、コロナ禍で集まって活動できませんが、委員たちの考えた「今、自分がしてみたい事」のレポートを紹介します。

私が今の状況の中やってみたいことは、

・変異型ウイルスなどについての知識を深めること

・深めた上でどう対処していくか

・この前も地震があったので、コロナ禍での避難の方法を考える(避難場所・避難してからの生活など)

・コロナで学校の行事や遊びに行ったりできない中、コロナ禍だからこそできる何か楽しむ方法を考えたい

実際に被災地に足を運んで、己の目にそれをはっきりと焼き付けた。

一見、本当に震災が起きたのだろうかと思わせしてしまうほど至って普通の街で、人々は普通に日常を過ごしていたのだ。

しかし、当時の写真動画を見た時、思わず私は声を呑んだ。

今でも忘れられない語り部ガイドさんの言葉。彼らに与えられた心の傷の深さというのは私たちには到底わかってあげられるものではないと思う。

もう話を伺いに行ったのは三年前前のことになる。それでも忘れない、忘れられない、忘れたくない。

私の心にひしひしと伝わってきた「震災に対しての恐怖」。

それを私は今、生きている全ての人、そして、産まれてくる全ての子に知って欲しいと思うのだ。

コロナウイルスに阻まれて思うように活動できないのが現状ですが、

ハザード会としての活動を推進していく為に私が提案したいのは、

ssで防災知識など私たちが学習していること、してきたことの全てを発信するということです。何度かハザード会でも提案しました。

具体例として挙げられるのはInstagram、TikTokのアカウントを作ることです。

それぞれの利点として、Instagramは興味のある人に詳しく伝えられる、TikTokは興味のない人にも伝えられる機会を得ることが出来るということがあると思います。

理由がいくつかあります。

その1

例えば授業で防災に関してのことを調べてきなさいと言われたとして、その際頼る

のはやはりssなのではないかということですが。一人でも多くの子に確かな情報を与えることを目標にしたいと思っています。

その2

最近、大手企業もssアカウントを作り、自身の製品を紹介するなどしていると動画がよく流れてくることです。

何となく目にして、覚えてくれる人がたくさんいます。

その3

後世に伝えていくために、現代のやり方で防災を広めるのが最適だと思います。一人一台スマホがある時代だからこそ、これがssの使い方が鍵になるのではないのでしょうか。

その4

コロナウイルスが流行していても、密になることなく、情報を確かに伝えられること、少人数で準備が可能なことです。

既に同じようなことをしているアカウントも少々ありますが、なんだか分かりにくいような気がします。何万という人に注目してもらおうというような大それたことは言いません。今すぐには言いません。

絶対やる方がやらないよりいいと思います！これからの活動に対しての私の意見は以上です。



自分は一回も女川(被災地)に言ったことがないから、自分の目で現在の被害の状況を確認したいと思っています。

避難タワーをつくるために自分たちで出来ることを考える

このご時世なので、避難所での感染対策などを考えていきたいと思いました。

今はコロナでやるのが難しいけど、集まれるようになったら、前に配ったハザードマップを細かく説明したい。配っただけでは地域の人へ上手く伝わってないこともあるかもしれないから質問したい人もいると思うので、ハザードマップ会のメンバーだけではなく地域の人と話したいです。

私は、災害が起きてから避難場所が気分転換ができるゲームを考えたり、自作でトランプなどのカードゲームの道具を作ってみたいです！

私がやってみてみたいと思うことは、避難タワーを作るために署名活動をする事です。コロナ禍なので、難しいかもしれませんが、災害

はいつきてもおかしくないで早め早めに行動に移りたいです

自分たちが作ったハザードマップをSNSで載せたりみんなと共有したい。(若い人は携帯を使う場面が多いので携帯にマップを載せる事で非常事にも手軽に使えると思ったので)

今のコロナの様な感染症が震災時に流行っていた場合などをシミュレーションしてみんななどどのような行動をすべきなのかを議論してみたい。

防災知識を兼ね揃えたゲームを作ってみました。(例防災スゴロクなど)

これから夏に入るので熱中症や感染症対策など身近にあるものでできる物使ってみて実践してみる。(季節に応じた対策法をもう一度再確認する機会を設けるといい。防災士の資格を取ってみたい(個人的な意見なのでみんなじゃなくてもいい)

コロナ禍で緊急事態宣言が発令されている中、みんなが集まれる機会は限られています。個人でも出来ることがあればなあと思っています。奥さんの言った通り、今の若い世代の自分たちが中心となって行動していかなければいけません。私たちは実際に大きな災害を体験したことはないけれど、それを間接的に捉えるだけでは無くていつか自分たちにも起こり得ることなんだと考えながら今後の防災活動をして

いきたいと思います①

博子おぼさんの感想

どれも率直な具体的なレポートだと思います。そして大切な事は、言い出しっぱに終わらない事です。どんな些細な事でもいいから自分たちから具体的に動き出すことです。

例えば、SNSのアカウント(私にはチンプンカンプン)を作る。署名活動はどうするか調べる。地域の大人たちにマップを説明する方法を考える、など。そして大人の助けが必要なら、遠慮なく申し出ましょう。そのために次回は是非集まってみんなで議論を深めたいと思います。

皆さんも知ってのとおり、近い将来、東南海地震や台風の大規模化等、大災害が起きる確率が高いと言われています。

若い君たちが、中心になって行動しなければならぬ時がきつとききます。ハザードのメンバーには、災害時の確かな判断力と行動力を身につけて、多くの命を守る人材に育ってほしいと願っています

その為にも、今は皆で一緒に学んでいきましょう！



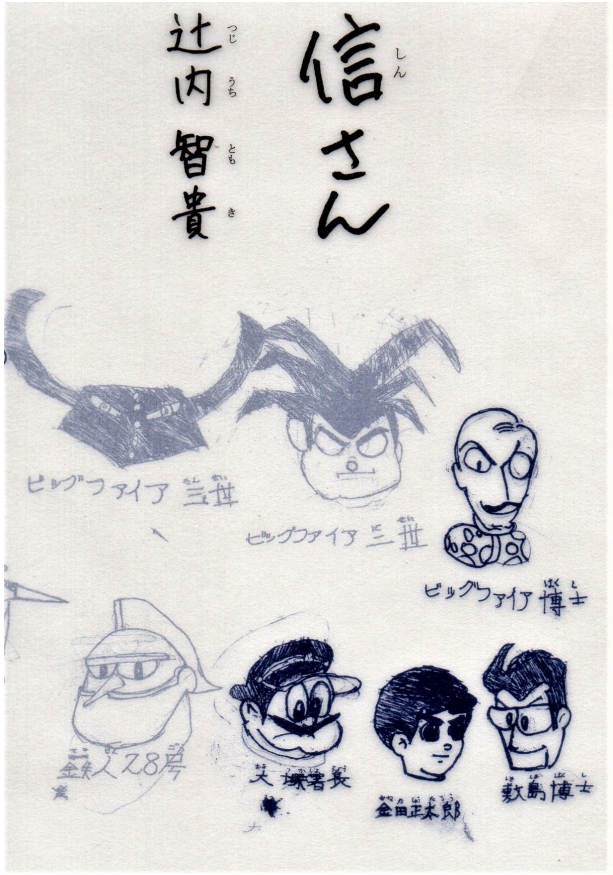
◆寺報の読者の方々から推薦図書を紹介された。その一つが「信さん」である。

◆あらずじ◆数十年前、北九州の炭鉱の町。気の弱い小学生の私（筆者）は暴れん坊の信さんに助けられ、それが縁となって、自分の母親と信さんとの心の交流が始まる。それまで手の付けられないと言われた信さんは、私の母の優しさに、人が変わったようになつていく。……◆時は流れて、養母と養母の娘のために、東京で必死に働く信さんは、父親と同じく、胸を患い、若干二十一才で亡くなる。その最後の描写を引用する。

◆見ると、病室に持ち込まれていたらしい幾つかの私物のなかに、やや大きめの、一枚の絵、らしきものが壁に立てかけて置いてあった。◆向こうむきに置かれていたが、裏には立派に板が打ち付けてあるのが分かった。◆立ち上がり、歩み寄って手に取った美代が、小さな声を上げた。◆それから、それを私の方へ向けて見せてくれた。◆それは私の母の肖像だった。◆信サンが真夜中の病室で、その短い一生を閉じたとき、その右手は、枕もとのその絵に向かつて伸べられていたようだ。

◆私も団塊の世代の真つただ中に生まれた。物はなかつたけれども、戦後復興のエネルギーだけはそこら中に満ち溢れていた。信さんは、炭鉱の町に生まれ、幼くして父を亡くし、叔父の家に養子となつて引き取られた。しかし、その後、女の子が生まれ、両親は実子を溺愛したため、信さんはグレた。近所

でも札付きの悪ガキとして名前が響き渡った。しかし、実は心根の優しい、正義感溢れる好男子だった。誰からも怒鳴られてばかりいた暴れん坊が筆者の美しい母親に親切にされると、途端に改心し、彼女に対する思慕の念を抱いた。北風と太陽という寓話があるが、まさにその通り、かたくなな男の子の心を開かせたのは、慈愛あふれる言葉だった。◆二十一才の若さで亡くなつてしまった信さんに誰もが哀れみを抱く。元気で生きていたら、きっと素晴らしい人生を切り開いたであろうにと、口惜しさを覚えるだろう。◆この話は実話と思う。小学生の頃大好きだった鉄人28号の絵が表紙の装丁になつていた。それは信さんが描いた実際のスケッチだったことが私には分かつて、一層味わいを深くした。



◆もう一人の読者から紹介された本が標題の本（岩波書店）だ。◆この本は、フリー編集者の艸場（くさば）よしみが、宇宙研究の最前線を切り開いてきた佐藤文隆に「死ぬ意味、生まれてきた意味」についてどう考えているのかを質問することから始まる。◆私も必死に理論物理学のことを、艸場の立場に立って理解しようとした。が、どうも難しすぎて立ち往生ばかり。◆でも、何とか我慢して読み終えた時に、真の学問とは、何ものにもとらわれず、ひたすら追い求めていくその姿勢の中にあるものだということと、

昨日確信を持った理論でも、次の瞬間にはそれが否定される可能性が常にひそんでいるものだということを何となく悟った。◆そして何ものにもとられない自由な思索こそが、人間を開放する最も大切な要素であることも知った。◆例えば、古代からずっと言われてきた論争に「天動説」と「地動説」がある。近年の自然科学者によって「地動説」が正しいとされ、ローマ教会はそれを認めざるを得なくなつた。◆一般相対性理論、量子力学など、私にはさっぱり理解できない事が最先端の物理学らしい。◆艸場が最後まで食い下がった「死」への質問は、佐藤によって次のように発展した。佐藤は言う。「永遠に生きるすべは第三の世界に名を残したいという努力です。死んだ後も第三の世界に伴走することが、幸せでもあり、救いでもあると思うね。」◆第三の世界とは永遠の世界のことか。私的（わたくし）き）に言えば「阿弥陀の世界」だ。◆最も感銘した部分を以下に引用する。



◆第一次大戦後、社会学者のマックス・ウエーバーがドイツの学生に請われて講演した。◆現実の代わり理想を、事実の代わりに世界観を、認識の代わりに体験を、専門家の代わりに全人を、教師の代わりに指導者を。◆これらは学問の敵だと、彼はこの時言ったのです。◆世の中が混乱すると、人びとは現実の代わり理想を求め、事実を見たくなくなる。頭で考えることを否定し、体験した事こそ真実だと思ふ。専門家の権威がなくなってトータルな人を求める。つまり知識の中身ではなく、「あの人がいうことなら信用できる」と、その人を信じるか信じないかが判断基準になる。◆そして、教師ではなく指導者を求めるようになる。◆このときのドイツの不安と熱狂が、その後、どこへ向かったか？◆：ナチス政権である。

◆お寺おやつクラブ・・・お寺でお菓子を食
べるクラブではありません。◆下のチラシに
あるように「皆様からの「おそなえ」を仏様
からの「おさがり」として経済的に困難な状
況のご家庭に「おすそわけ」する活動」をし
ている、寺院の団体です。◆宗派は問わず日
本全国に活動の輪が広がっています。◆
安泉寺も四年前から活動に参加しており、昨
年の熊本豪雨に水を八箱、今年はコロナ禍で
お米が買えない困窮家庭に玄米三〇キロを本
部を通して配ってもらいました。

◆また、野菜やお菓子など大量に頂戴した時
には、近隣の某養護施設におすそ分けしてい
ます。子ども達は地元の食材の美味しさを堪
能しているようです。◆今までのような活
動をしている事を、しっかりお知らせしませ
んでしたが、これからはお知らせと皆さんに
協力をお願いしようと思えます。◆その1
これから出来る沢山の夏野菜・採れすぎてど
うしよう・・・食べきれない、安泉寺経由でお
寺おやつクラブに寄付して下さい！◆その2
未使用のタオル類・余ってるなら寄附して下
さい！食品は賞味期限を確認して寄附して下
さい！◆持ちつ持たれつ、お互い様の気持ち
でよろしく願います。



おてら おやつ クラブ

全国のお寺の おそなえ
仏さまからの おさがり
子どもたちに おすそわけ



おやつが届くまで



おてらおやつクラブとは？

お寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。



特定非営利活動法人おてらおやつクラブ

◆私が十数年間かわってきた町の活動がある。三和地域環境保全活動。花を植えたり、排水路の除草や泥上げをしたり、そば打ち活動をしたり、看板を立てたりと、要は農村環境を維持し、整えていく、今というSDGsにかなうものだ。◆最初は農業者だけが参加した。しかも役員が中心になって作業をしていたが、やがて農家・非農家にかかわらず、地域のほとんどの住民が、年4回ほども参加する一大イベントに発展した。◆これには十数年間にわたる地道なスタッフの働きがあった。◆最も大変なのは、世話方である。一事業を実行するのに、参加者を募り、配布物を調査し、保険をかけ、食事や飲み物の調達、当日の指示、撮影、事後処理の書類作成、など、広範囲にわたる。しかし、それにもまして頭が下がるのは、植栽に向けて、花壇の整備や、除草前に刈り込みをしてくれる人、注文したり貯金を下ろしてくれる会計、そういう優秀なスタッフがそろっているからこそ、この一大事業は大過なく続けられているのだ。◆私は以前にも述べたが、この運動は町の農村環境を保全するものもちろんだが、人間環境をも保全する大切なものだと思う。◆活動を通して、地域の人たちの和が図られ、交流がすすむ。これは、いざという時の、

例えば災害時などの緊急事態の時に地域力としてきつと役立つはずだ。◆お上の補助金でこの活動が支えられていることも見逃せない。大切な税金を私たちのために有効活用できればこんないいことはない。◆私は長年やっている中で、地域の小使いさん（用務員）に徹することに決めた。三和町は自主的な協力者も多く、間に合わない小使いの私を支えてくれる人たちも多い。大変にやりがいのある仕事で、私はこれから、私も頑張るつもりだ。

◆三和町を何処よりも住みやすい安全・安心な町にした。そのために力を尽くしたい。



◆こうして高校にまいりますと、何か懐かしいような、羨ましいような気がいたしますね。よく、高校にも講演にまいりまして、生徒さんたちにお話をするとき、堅い雰囲気ではなく、柔らかい感じでお話をしたい時があります。◆そんなとき、僕はこうするときがあります。「僕は高校に行けなかった少年です。皆さんはとても幸せではないか。せつから今日は高校に来て、皆さんとお話する訳だから、僕は今日だけ高校生にさせてもらいます。」と言って、僕のせがれがかつて着ていました高校生の制服を隠しておきましてね、そしてしゃがんでパツパと着ましてね、そしてテープで「高校三年生」という歌を流してもらいまして、高校生の服装で歌うというよくなことをやったこともあります。◆非常に変わった講演でございます。生徒さんがびつくりします。びつくりしたところをねらってパーツと話をするとよく聞いてくれる、ということもありました。こんなことをするぐらい、学校というのは僕にとってはあこがれでございます。◆なぜ僕が小学校四年生までしか行けなかったのかというお話はこれからできると思います。限られた時間でございます。また、今日の演題の「私の出会った神様たち」という言葉の中で、「神様」というのは目に見えない神様ではなくて、僕の心に

色んなことを教えてくださった人間のことを指しています。そういう方との出会いによって今日僕は何とか生きていると思うわけです。そういうわけでこのような演題を選ばせてもらいました。◆沢山いらっしやいます。限られた時間内で何人お話しできるかわかりませんが、これもこれからそのお話をしたいと思えます。

第2章 私の生家

◆本当にやっとかめで名古屋に来たという感じですが、やっとかめではないんです。僕は毎月一回名古屋に来ております。第三金曜日に来ております。NHKに来ております。NHKの番組審査委員会というのがございまして、中部七県から委員が集まります。僕は静岡県の代表です。その会議のために実はおとついでいるのです。(続く)



このようにわたしは聞いた。ある時、釈尊は、ウルヴィルヴァーのナイランジャーナー河（尼連禪河）のほとりの菩提樹のもとにあつて、はじめて正覚をなしとげられた。釈尊はひとたび両足を組んで坐ったまま、七日のあいだ解脱のたのしみを受けながら坐っておられた。そして七日をすぎたのち、釈尊はその定座より起つて夜が更けたころつぎのように順次に、また逆次によく縁起の法を思いめぐらされた。◆これがあれば、かれがある。◆これが生ずれば、かれが生ずる。◆これがなければ、かれがない。◆これが滅すれば、かれが滅する。（パーリ『小部経典』より）

◎ブツダがさとつた真理

◆この話は、ブツダの最初のさとりである「縁起」について語つたものです。◆ブツダがはじめて真理を得たとき、七日間ひとり坐してさとの境地を楽しんだのち、縁起について考えはじめたというのです。◆人間に苦しみをもたらしているものは何か。それは、欲望にとらわれる心ではないか。すべての苦しみのもと「ほしい」「満たされていない」という心の働きであることを、ブツダは発見します。これを「渴愛」といいます。◆そして、ほしいほしいとばかり思うのは「眞実が分かつていない」からだと考えたのです。こうした無知の迷いを「無明」といいます。◆この無明があるから渴愛が生まれる、ということ

ブツダは何度も観察し、その因果の関係を「これがあれば、かれがある」という詩で示したので、◆無明から渴愛が生まれる。無明と渴愛がからみ合つて、際限のない苦しみをつくり出しています。では、どうすればよいのか、逆にいえば、無明をなくせば渴愛も消えるわけです。◆ブツダはこの因果関係を十二の段階で示しました。◆無明↓行↓識↓名色↓六処↓触↓受↓愛↓取↓有↓生↓老死◆というように、無明があることよつて、生きることや老いることや死ぬことの苦しみが生じて、それがまた無明を生む、というのです。◆このように、苦しみの生起と消滅を知ることが、ブツダのさとりであり、そのさとりが現在にいたるまで多くの人を救つているので



七月の行事予定

文芸クラブ 八日(木)

環境保全会活動 十二日(日) 八時

三密を避け、環境保全会が屋外で除草作業をします。

ハザードマップ委員会 日時未定

今月の掲示板

自助・公助に
近助を入れる
地域力

◆「近所」ではなく「近助」です。

訃報

城源照さん 早尾町 享年六十九才

お知らせ

◆付録説明・本山より「今あなたに届けたい法話」パンフレットが発行されました。QRコードで、簡単にスマホから法話が動画で見れます。二十分以内で終わりますので、どこでも誰でも聞くことができます。どうぞご活用ください。

編集後記

◆もう周りの田んぼでは、蓮の花が咲き始めました。これからお盆まで、蓮の花に囲まれての生活が始まります。泥に染まらず咲く蓮の花。私たちの生き方を教えられます。まさに蓮華蔵世界ですね。合掌。

◆Kさんからの絵手紙です。

